

在シドニー総領事通信

第 30 回 NSW 州の主要地方都市：日本とのビジネスと交流を推進するために

令和 2 年（2020 年）12 月 4 日

コロナが落ち着いて、シドニー大都市圏から NSW 州内を安心して回れるようになりました。そこで、ウーロンゴン市、ニューカッスル市、セントラルコースト市を先月初めて訪問し、日本とのビジネスや交流の関係者とお会いしました。

NSW 州内で人口が多い都市は、第 1 位がシドニー大都市圏の約 432 万人、第 2 位がニューカッスル市の約 32 万人、第 3 位がセントラルコースト市の約 31 万人、第 4 位がウーロンゴン市の約 26 万人で、第 5 位以下の市は 10 万人未満です（2016 年豪州国勢調査）。また、在留邦人は、シドニー大都市圏に約 3 万 5 千人、3 市には各々約 300～500 人が在住しています（2019 年海外在留邦人数調査統計）。年内にこれらの主要な地方都市を訪問することができて良かったと思っています。

今回の訪問を通じて、シドニー大都市圏のみならず、州内の地方都市でもそれぞれ長年にわたり日本とのビジネスや交流を進めており、日本の存在感が大きいと感じました。この総領事通信では、訪問の結果をご報告しながら、地方都市レベルの関係強化が、相互理解や信頼関係の深化を通じて、双方の利益と幸福の増進にどのように貢献しているのか、皆様と一緒に考えていきたいと思います。



ウーロンゴン大学学長・副学長との協議
(2020 年 11 月 16 日)

●ウーロンゴン市訪問

11 月 16 日、シドニーから車で 1 時間半のウーロンゴン市に出張し、ウーロンゴン大学のウェリングス学長とフリノ副学長（グローバル戦略担当）にお会いしました。ウーロンゴン大学は 1975 年に設立された比較的新しい大学ですが、その後規模を拡大するとともにドバイ、香港、マレーシアにも展開し、今や国内に 27,000 人以上、海外のキャンパスを含めると 35,000 人以上の学生がいます。

日本との関係では、約 100 名の日本人の学生が在籍し、約 30 の日本の大学と協定を結んで、毎年約 20 名の学生が双方向で交換留学を行っています。また、日本の様々な大学や研究機関との共同研究を行い共同論文を発表しています。

西シドニー開発との関係では、2017 年にニューカッスル大学、ニューサウスウェールズ（NSW）大学とともに NUW Alliance を立ち上げており、日本の企業や大学との連携も今後推進していきたいとのことで、強い熱意を感じました。



NEC 拠点が入居しているウーロンゴン大学のイノベーション・キャンパス
(2020 年 11 月 16 日)

ウーロンゴン大学が技術開発・ビジネス拠点として立ち上げたイノベーション・キャンパスには、NEC オーストラリアの拠点が入居しています。NEC はこの拠点で、NSW 州政府の委託を受けて、州全体の公共交通機関に ICT 関連サービスを提供しています。

今回、この NEC 拠点を視察して、ブレイスウェイト拠点長から説明を伺いました。この拠点は 2016 年にエアーズ NSW 州投資大臣他の臨席のもと開所し、現在 130 名が働いているのみならず、ウーロンゴン大学の ICT 専攻の卒業生に研修や就職の機会も提供しているとのことでした。

このような形で、日本企業が当地の大学と連携して、雇用創出や人材育成に貢献しているのを見て嬉しく思いました。



ウーロンゴン植物園にある川崎橋
(2020 年 11 月 16 日)

このウーロンゴン市は、1988 年に川崎市と姉妹都市となりました。当時、ウーロンゴン市で鉄・石炭工業からハイテク産業への移行や都市再開発が課題となる中で川崎市を視察し、川崎市もオーストラリアの広大な国土とゆとりのある生活を学ぶことは意義があると感じ、姉妹都市提携を結んだとのこと。

その後、ウーロンゴン市と川崎市の間で、長年にわたり青少年交流や文化交流が続いています。特に、1992 年からは、川崎文化ジュニア賞の大賞受賞者 4 名が、毎年 8 月にウーロンゴン市を親善訪問しています。本年 8 月はコロナの影響で訪問が取りやめとなったことは残念です。

また、同じく 1992 年から、ウーロンゴン大学で日本語を学んでいる学生が、川崎でホームステイをしながら専修大学での日本語学習や市内視察などを行っています。その他、音楽や教育、福祉の分野でも交流が行われています。

ウーロンゴン植物園には、1993 年に川崎市から寄贈された太鼓橋を 2005 年に修復した太鼓橋があり、市民の観光スポットとなっています。視察した際も、卒業パーティーでにぎわっていました。



ニューカッスル市長から宇部市との姉妹都市 40 周年記念冊子を受領
(2020 年 11 月 19 日)

●ニューカッスル市訪問

同じ週の 11 月 18 日から 19 日まで、シドニーから車で約 2 時間半のニューカッスル市を訪問しました。ニューカッスル市は 1980 年 11 月 21 日に山口県宇部市と姉妹都市提携を結んでおり、訪問したのは姉妹都市 40 周年記念日の直前となりました。

ニューカッスル市と宇部市は、当時石炭の輸出入で関係が深く（宇部市の石炭輸入の半分がニューカッスル港積み出し）、人口も十数万人と同規模であったことを背景に姉妹都市となりました。その後も長年に亘り、市長や市議会議員の相互訪問、青少年・文化交流を積み重ねてきました。

今回はコロナの影響で相互訪問ができないので、私が市長への表敬訪問と意見交換を行った後、40 周年記念冊子を受け取り、40 周年記念デジタル展示と市長動画メッセージを見せていただきました。



ウィリアムタウン空軍基地に隣接したアストラ・エアラブ地区の視察
(2020 年 11 月 18 日)

今回の訪問では、NSW 州政府が推進するウィリアムタウン空軍基地隣接の防衛・航空産業新開発特区（Special Activation Precinct）も視察しました。大規模な開発特区は現在計画段階ですが、それに先行してニューカッスル市及び隣接のポートスティーブン市によるアストラ・エアラブ地区の開発が既に進んでいました。BAE システムズは F-35 事業のために既存の施設の拡張を計画中で、ロッキードやボーイングも既に拠点を有しており同地区での拡大を検討中とのことでした。

また、ニューカッスルに拠点を置く日本企業の駐在員からもお話を伺いました。四国電力は石炭安定調達のために当地に子会社を設立しています。日本郵船は石炭をはじめとする貨物の効率的輸送のために当地に専門の技術者を配置しています。日立建機は当地の鉱業用機械会社 Bradken を 2017 年に買収し、同社の経営を改善しながら事業と収益を拡大しています。旭化成ホームズは 2017 年に当地大手住宅会社 McDonald Jones Homes の少数株主となり、豪州の住宅産業に参入して着実に成果を上げています。



ニューカッスル高校のバンダーメア先生の日本語クラスでは
日本食の単語を教えるためにたこ焼を用意
(2020年11月19日)

ニューカッスル市では高校2校を訪問しました。当地の高校は日本の中高一貫校と同じで、7年生から12年生が通学しています。

最初のメアウェザー高校は、NSW州・北部準州の中高校生を対象に当館が主催する日豪関係エッセイコンテストで学校賞を受賞したので、表彰式を行いました。生徒たちのエッセイは、日本で行きたい訪問先として、中山道や楽器博物館や神社などを自分の関心に合わせて選び、丁寧に調べたものでした。

次のニューカッスル高校では、日本語の授業を参観しました。日本語教師のバンダーメア先生は日本文化が大好きで、生徒たちに日本の良さを理解させようとの熱意にあふれていました。今回の授業では、日本食の主な料理をひらがなやカタカナで教えることが目的でした。ラーメンは映画「たんぽぽ」から抜粋した動画、すき焼きは作り方の動画を見せてクイズを出し、たこ焼きは大阪のYouTuberによるたこ焼き店の動画を見せた上で、温かいたこ焼きを生徒に試食させたのを見て、熱意に脱帽しました。



アッパー・ハンターにあるスモール・フォレストのワイナリー
(2020 年 11 月 19 日)

ニューカッスルのあるハンター地域は、ワイン産地としても有名です。ニューカッスル市内から車で 1 時間半ほど離れたアッパー・ハンターで日本人がワインを作っているのを、11 月 19 日の夕刻に訪問しました。

このスモール・フォレストというワイナリーは、ラドクリフ小林敦子さんが経営しています。1999 年からオーストラリアの大手ワイナリーで働き、宮城県の浦霞醸造元で日本酒の醸造も経験した後、2013 年から自らのワインブランドを立ち上げました。森林火災など幾度の困難に直面しながらも、作ったワインは各種コンクールで受賞するなど高い評価を得ています。

オーストラリアのワインの本場で、日本人の女性が自らのワインブランドを持ち活躍していることには本当に励まされますし、まさに日豪友好の象徴です。当館からも、2018 年にラドクリフ小林敦子さんに総領事表彰を授与しました。今後とも是非応援していきたいと思います。



ゴスフォードの江戸川記念庭園・市立美術館で
ブラハム館長（中央）とキング市役所美術文化部長（右）と
（2020年11月20日）

●セントラルコースト市訪問

11月20日には、セントラルコースト市を訪問しました。セントラルコースト市は、2016年にゴスフォード市とワイオン市が合併して生まれた市です。

ゴスフォード市は、1988年のオーストラリア建国200周年を機に、東京都江戸川区との姉妹都市提携を結びました。翌年オーストラリア政府から江戸川区自然動物園にワラビー6頭が贈られ、1994年には江戸川区の協力でゴスフォードに江戸川記念庭園が開園しました。2000年には市立美術館も併設され、現在も多数の市民が訪れる人気スポットとなっています。

また、江戸川区は、「青少年の翼事業」でセントラルコースト市のナララバリー高校と相互派遣を行うなど、草の根の交流を深めています。



ゴスフォード高校のブラウンリー先生の日本語クラス
(2020年11月20日)

今回は、ゴスフォード高校の日本語クラスを視察しました。授業の主なテーマはニューカッスル高校と同じく日本食でしたが、こちらは写真やひらがなのシートを活用し、グループワークでゲームや競争を取り入れながら、にぎやかに日本語を学んでいました。また、同じくグループワークとして生徒が制作した日本語劇の動画は、各グループの創意工夫にあふれていました。

ゴスフォード高校では、8年生に外国語必修として1学年90名の生徒の半分にフランス語、半分に日本語を教えています。9年生以降の外国語は選択となりますが、12年生まで続ける生徒が20名以上いるとのことで、心強く感じました。

この機会に、美術や音楽、家庭科や化学など、校内の様々な授業を見学させていただきました。いずれの教科も、単に知識を伝えるばかりでなく、生徒の自主性を尊重した教育で、生徒たちは恵まれていると思いました。



マングローブ・マウンテン郡にある国太楼のワラタ農園
(2020 年 11 月 20 日)

最後に、セントラルコースト市郊外のマングローブ・マウンテン郡にある国太楼の緑茶農園（ワラタ農園）を視察しました。国太楼は、有機栽培に適した農地を世界中で探し、湿気が少なく害虫がほぼゼロのこの場所を選定しました。そして、2004 年に土地を取得し、日本茶の苗木を日本から輸出して、NSW 政府と共に土づくりから始め、自社製造の有機肥料で茶葉を育てています。

茶葉は農園内にある工場で乾燥・粉碎して碾茶にし、最終加工するために日本の静岡工場に送っているとのことです。現地での作業は、農園開始当時から栽培を担当している小ノ澤昭夫氏が、収穫前の一時期を除き全て 1 人で行っており、よく驚かれるそうです。

日本での需要の変化で、生産を全て抹茶に切り替えた由です。現在は当地で本格的に販売しておらず、カフェ等へのマーケティングを行っている段階とのことですが、今後当地でも需要が伸びて販売が始まるよう願っています。



ゴスフォード高校日本語クラスの 2019 年日本旅行の色紙
(2020 年 11 月 20 日)

●ビジネスと交流を核にした相互理解と信頼関係の深化へ

今回、NSW 州内の地方都市を回って一番感じたことは、日豪の地方都市レベルでビジネスと交流の双方を並行して進めれば、相互理解と信頼関係が一層深まり、双方に利益と幸せをもたらすということです。

ゴスフォード高校の日本語教室には、昨年の日本旅行の思い出をまとめた色紙が飾ってありました。ニューカッスル高校の日本語教室にも、相互訪問時の写真が壁に貼ってありました。それぞれの生徒にとって、大きな経験になっていると思います。このような交流の継続は本当に有意義なことと感じました。

結局のところ、日豪間の相互理解や信頼関係は、長年のビジネスを通じての太いパイプや、都市間や学校間の交流に支えられています。当館も、このような関係を一つ一つ大切にして、後押しをしていきたいと思っています。

【日本語ウェブサイト用のリンク・文献】

ウーロンゴン大学

<http://uow-japan.com/html/index.php>

<https://documents.uow.edu.au/content/groups/public/@web/@unia/documents/doc/uow170620.pdf>

NEC のウーロンゴン大学拠点（英語）

<https://www.uow.edu.au/media/2016/new-nec-office-in-wollongong-drives-ict-growth-in-regional-australia.php>

<https://www.investregional.nsw.gov.au/success-stories/nec/>

ウーロンゴン市と神奈川県川崎市の姉妹都市関係（当館 HP）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/sister_city.html#kanagawa

ニューカッスル市と山口県宇部市の姉妹都市関係 40 周年報道発表・メッセージ

<https://newcastle.nsw.gov.au/council/news/latest-news/city-of-newcastle-celebrates-40th-sister-city-anni>

<https://www.facebook.com/NuataliNemes/posts/3833939633305640>

ニューカッスル市と山口県宇部市の姉妹都市関係（当館 HP）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/sister_city.html#yamaguchi

ウィリアムタウン開発特区、アストラ・エアロラブ（英語）

<https://www.nsw.gov.au/snowy-hydro-legacy-fund/special-activation-precincts/williamtown-special-activation-precinct>

<https://www.astraaerolab.com.au/>

ニューカッスル高校の外国語教育（英語）

<https://newcastle-h.schools.nsw.gov.au/our-faculties/languages.html>

スモールフォレスト・ワイナリー（英語）

<https://smallforest.com.au/>

ラドクリフ小林敦子氏インタビュー記事

<https://nichigopress.jp/column/imaikiru/151101/>

<https://wotopi.jp/archives/38379>

<https://www.vaiandcompany.com/new-south-wales/small-forest-%E3%82%B9%E3%83%A2%E3%83%BC%E3%83%AB-%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%88/>

ラドクリフ小林敦子氏への総領事表彰授与（2018 年 12 月）

[https://www.sydney.au.emb-](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/about_consul_generals_gallery_archive_2018.html#Dec2018)

[japan.go.jp/itpr_ja/about_consul_generals_gallery_archive_2018.html#Dec2018](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/about_consul_generals_gallery_archive_2018.html#Dec2018)

ゴスフォード江戸川記念庭園・市立美術館（英語）

<https://www.centralcoast.nsw.gov.au/recreation/venues-and-facilities/galleries/edogawa-commemorative-garden>

<https://www.centralcoast.nsw.gov.au/recreation/venues-and-facilities/galleries/gosford-regional-gallery/>

ゴスフォード高校の外国語教育（英語）

<https://gosford-h.schools.nsw.gov.au/learning-at-our-school/languages.html>

セントラルコースト市・東京都江戸川区の姉妹都市関係（当館 HP）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/sister_city.html#tokyo

国太楼オーストラリア自社農園

<https://www.kunitaro.co.jp/australia/>

（以上）